

全板青森大会 5月12日 新青森県総合運動公園

愛知県板からは40名参加



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

第63回全国建築板金業者青森大会が5月12日(木)に、新青森県総合運動公園(マエダアリーナ)で盛大に開催された。

愛知県板からは、県板コースで20名、他3支部が独自コースで20名の計40名が参加した。県板コースは11日(水)から13日(金)の2泊3日の旅程であった。

初日は予報通りの雨の中、各自、中部国際空港に午前9時10分に集合し、午前10時10分、秋田空港目指して離陸、定刻の午前11時30分に到着した。

空港で待っていた大型バスに乗り込み一路青森を目指した。途中

何度か休憩を取りながら、青森市内では青函連絡船の最終航路船となった「八甲田丸」を見学し、午後5時にはホテルに到着した。チェックイン後は各自ホテル周辺を散策、午後7時40分から(約

1時間)は青森県板の「ねぶた運行」に感動し、それぞれ夕食を済ませホテルに戻った。翌朝午前8時にホテルを出発、大会会場には30分も掛らず到着した。どの大会でもお馴染

みの光景になっているが、会場周辺では青森県板の同志が揃いのジャンパーで温かく迎えてくれた。午前9時から行われたテープカットや展示会場を見学し、午前10時からの式典には独自

コースでの参加者も同じ席に着き、「組合理事長及び組合参加者紹介」では小野寺理事長の掛け声に全員で「ウォー！」と力強く叫んだ。大会では各種の表彰が行われ、愛知県板か



▶ 大会風景「バンザイ」



▶ 愛知県板「ウォー！」

▶ 功労章受賞者



鈴木 恵司



服部 博一



小野寺 俊一

▶ テープカット



▶ 参加者



▶ 懇親会



▶ 青森ねぶた



(1頁よりつづき)
 らは次の3名が功労章を受賞した。
 小野寺俊一 (熱田・南支部)
 服部 博一 (二宮支部)
 鈴木 恵司 (西尾支部)
 午後1時45分、前日から別行動だった小野寺理事長も合流し、大会会場を後にした。

途中、弘前公園・弘前城を地元のボランティアガイドの説明を受けながら1時間以上散策し、2日目の宿泊地、大鰐温泉不二ホテルには午後5時に到着した。
 この夜の宴会は大いに盛り上がった事は言うまでもありません。最終日は雨の中、午前8時過ぎに秋田方面

に向けホテルを出発、鹿角観光ふるさと館では秋田県無形民俗文化財に指定されている祭典「花輪ばやし」で使用される11台の素晴らしい屋台等を見学した。昼食を小岩井農場まきば園でとった後、秋田空港に向けバスを走らせた。
 午後4時15分に秋田を飛び立った便は午後

5時50分に中部国際空港に着。
 お土産など荷物を受け取り空港にて解散となった。
 来年は山梨県で5月17日(木)に開催される予定である。
 松浦 (東三支部)



▶ 青森ねぶた



平成23年5月12日(木)「新青森県総合運動公園(マエダアリーナ)」で開催された第63回全国建築板金業者青森大会に於いて、東日本大震災で被災された7組合(青森、岩手、宮城、福島、栃木、茨城、千葉)に義援金が贈られたので全国と愛知の義援金明細を記載いたします。

愛知県板金工業組合の皆様にご協力いただきありがとうございました。

理事長 小野寺 俊一

〈東日本大震災 災害御見舞金〉 全国

ブロック名	組合名	組合員数	御見舞金	ブロック名	組合名	組合員数	御見舞金	
北海道	北海道	538	1,646,500	西 部	滋賀県	94	253,605	
東 北	青森県	261	821,288		京都府	215	1,000,000	
	岩手県	245			大阪府	336	866,000	
	秋田県	215	384,000		奈良県	58	405,000	
	山形県	259	496,000		兵庫県	230	1,000,000	
	宮城県	245			和歌山県	71	400,000	
	福島県	246	201,000		岡山県	83	143,000	
関 東 甲 信 越	茨城県	201	312,000		広島県	186	360,000	
	栃木県	160	160,000		鳥取県	96	440,000	
	群馬県	200	400,000		島根県	133	475,000	
	埼玉県	180	320,000		山口県	117	303,000	
	千葉県	166	340,000		四 国	香川県	114	478,000
	東京都	506	2,500,000			徳島県	37	114,000
	神奈川県	280	628,000			愛媛県	102	281,160
	山梨県	80	130,000	高知県		93	190,000	
	長野県	357	616,000	九 州		福岡県	250	530,000
	新潟県	540	2,300,000			佐賀県	99	194,000
中 部	静岡県	340	887,000		長崎県	86	377,000	
	愛知県	576	1,287,000		大分県	85	167,000	
	岐阜県	338	614,000		熊本県	124	210,000	
	三重県	184	374,080		宮崎県	90	172,000	
	富山県	398	851,000	鹿児島県	85	200,000		
	石川県	226	552,000					
福井県	253	500,000	組 合 計	9,778	24,878,633			

青年部 計 2,693,712

全日本板金工業組合連合会	100,000	全板連・日板協職員互助会	100,000
社団法人日本建築板金協会	100,000	全板国保職員互助会	30,000
全国板金業国民健康保険組合	100,000	国保組合会	116,000
全板興業(株)	50,000	全板グループ 計	596,000

入金合計 28,168,345

道具類支援	1,134,100	支 出 計	2,134,100
伊勢神宮	1,000,000		

総合計 26,034,245

〈東日本大震災 災害御見舞金〉 愛知県板金工業組合

支部名	御見舞金	支部名	御見舞金	支部名	御見舞金
千種支部	56,000	犬山支部	20,000	知多支部	90,000
東北支部	30,000	江南支部	30,000	東三支部	73,000
西支部	9,000	小牧支部	18,000	理事会	14,000
中支部	5,000	西春支部	20,000	広報委員	8,000
熱田・南支部	30,000	岡崎支部	120,000	青年部	6,000
瑞穂支部	253,000	碧南支部	50,000	小野寺理事長	20,000
中川・港支部	62,000	刈谷支部	10,000	石原鏡司・和子 (岡崎支部)	30,000
緑支部	50,000	豊田支部	36,000	事務局	11,000
一宮支部	34,000	安城支部	18,000	加藤印刷	10,000
瀬戸支部	20,000	西尾支部	50,000		
春日井支部	20,000	知立支部	30,000	総 合 計	1,287,000
津島支部	14,000	幡豆支部	40,000		

愛知県板金総合職業訓練協会 第33回 通常総会開催

5月29日(日)、名古屋市内の名鉄グランドホテルに於いて、愛知県板金総合職業訓練協会第33回通常総会が開催された。定刻午後3時より3月11日の東日本大震災でお亡くなりになられた方々に対し、深く哀悼の意を表し黙祷をささげた後、総会に入った。

神谷理事が司会を務め、川村副会長の辞に続き、長谷川会長より挨拶を頂いた。近年板金業界をとりまく厳しい現状と、協会員の高齢化や廃業による会員数の減少で今後の見通しが不透明であるなか、23年度板金技能専門学校に於いても一名の入校生にとどまったが、板金業界発展と後継者育成に努めると挨拶された。

林義弘理事が儀容に選任され議事に入った。

第1号議案

22年度事業報告 収支決算 監査報告承認に関する件

第2号議案
23年度事業経過句及び収支予算(案)の決定に関する件

第3号議案
役員改選の件
その他すべての議事が承認され、議事を終えた。

来賓の愛知県職業能力開発協会専務理事吉田和豊様、愛知県板金工業組合理事長小野寺俊一様より、東日本大震災により被害を受けられた東北地方組合員に対する義援金の協力報告と、仕事の見通しについて挨拶を頂いた。

最後に井藤副会長の閉会の辞にて無事総会を終えた。休憩後懇親会が開かれた。会員同志の会話は、仕事内容と今後の展望等の厳しい内容が多

**地震に強い
ファインスチール**
●金属屋根●

Fine Steel ファインスチール普及会

- かかったが、賑やかに終わった。
- ※来賓者
愛知県職業能力開発協会 専務理事
吉田 和豊様
愛知県板金工業組合 理事長 小野寺俊一様
ダクト共同組合 理事長 村上 章様
愛知県板金工業組合 事務局長
武田 允様
名古屋板金連合会 会長 後藤 実様
尾張板金連合会 会長 富本 育三様
知多支部 支部長 山内 政明様
愛知県板金総合職業訓練協会 顧問 羽柴 弘和様
井藤 (西春支部)

5月度の動き	
【県板】	16日 技能検定打合せ 於 県訓練会館
	18日 厨房空調委員会 於 県板3階
	23日 中部ダクト総会 於 ルブラ王山 出席 理事長
	27日 保証・技研合同委員会 於 県板3階
	29日 訓練協会総会 於 名鉄グランド ホテル
	30日 中央会総会 於 ホテル グランコート 出席 理事長・武田
【各支部】	12日 定例会 6名 ・今後の活動予定について
	中村支部 17日 定例会 8名
	瑞穂支部 2日 定例会 13名 ・県板、連合会報告
	熱田・南支部 19日 定例会 5名

	26日 定例会 13名 ・全板青森大会の報告 ・支部懇親会について、他
	津島支部 5日 定例会 5名
	犬山支部 14日 定例会 8名 ・各種報告
	江南支部 15日 支部会 12名 ・あいちガンパロー資金の件
	岡崎支部 26日 役員会 19名 ・レクリエーションの 打合せ、他
	碧南支部 24日 青年部定例会 2名
	豊田支部 9日 第2回役員班長会議 18名 ・県板他各種報告
	西尾支部 18日 役員会 12名 ・研修旅行について、他
	東三支部 7日 三役会 6名 10日 定例会 22名 28日 三役会 6名

編集後記

常識と非常識 集い、大会、懇親会、等会場設営や進行に、困ることが多い。来賓や上司目上の挨拶や席順の順番を、絶対おろそかにしてはいけない。

もし違いでもあれば、相手にとっても失礼である。会場の支配人や、スタッフに、相談しましょう。

冠婚葬祭、ビジネスマナー、仕事先、親、兄弟にも常識が必要です。私が、総務委員会に所属している時、一番気を遣ったことです。

準一

六月二日(木) 雨
四七一号 編集会議
広報委員 7名
理事長出席
午後二時半開会
午後五時閉会